

開幕直前 やつてやるぜ！ 座談会

HFLで連覇を目指す、われらが石狩レッドフェニックス！その2024シーズンの開幕を前に、4人の選手による座談会を企画しました。選手たちのメラメラ燃える意気込みをお伝えします！
 ◎プロフィールは、選手の皆さんに、他己紹介していただきました



昨シーズンを振り返って

蟹澤 2022年はHFLで最後の最後に負けて、日本独立リーググラウンドチャンピオンシップ(以下、グラチャン)に行けなかったから、2023年は何としても勝つという使命感がみんなの中にも強くあった。練習も厳しくなって…。

兼村 走る量が格段に増えた。あと、関西キャンプにも行って例年より早くグラウンドで練習しましたよね。

蟹澤 だからHFLで優勝できたのはうれしかったし、ほっとした。恥ずかしいけど勝って泣いちゃったからね。高校でも泣かなかったのに。

中谷内 それからグラチャン。負けはしたけど、いい試合ができたと思うんだよね。

藤井 自分は初めガチガチで、でも楽しかったですよね！

蟹澤 俺は別に。正直勝てると思ったから。ミスさえしなければなあ。

兼村 だから悔しかった。愛媛マンダリンパイレーツに1対4。これが大差ならまだしも…ヒット数は一緒でしたからね！



外野手
兼村 昂臣
Koushin Kanemura

チームメートも認める超マジメ選手。練習熱心なのはもちろん、職場の(株)鈴木商会でも「できない人間と思われたくない!」と全力投球。プライベートで仲の良い蟹澤選手も「人の悪口を言わない。内面はいい奴っばいですよ」。選手としては肩が強く、「いい球、投げます!」(藤井選手)。

2024プレーテーマは「覚悟」

2024シーズンも石狩レッドフェニックスの気迫あるプレーを見ていただけたら。野球教室で出会った石狩っ子たち、グラウンドで待ってるよ!



内野手
中谷内 莞
Kan Nakayauchi

「走攻守そろって、本当に野球がうまい」(兼村選手)とチーム内で称賛される一方、プライベートに関しては「気づいたら奇声を発している」(藤井選手)、「朝からオエオエ言っている」(蟹澤選手)という声も。このオン・オフのギャップについては「チーム随一」という仲間からの評あり。

2024プレーテーマは「超越」

2024シーズンへの決意

藤井 (うれしそうに) 今日のメンバーって、老田代表が「期待のメンバーだ!」って選んだんだって。

兼村 「しゃべれるメンバー」だったら 壮太はいない(笑)

藤井 あっ! でもほら、必要だから。こういうところには…ね!

蟹澤 キャラとして。

中谷内 アハハ!

蟹澤 いずれにしてもチームとしては人も変わるわけだし、新たな気持ちで取り組む。今年は全国に行つて優勝だけを目指して頑張りたいたいよね。個人としては、あまり大口を叩かず、とにかくががをしないこと。キャッチャーはチームが勝てば、自分の結果にもつながっているはずだから。

兼村 僕も入団3年目。これまでは結果が出ないと一喜一憂していたけど、そこは智毅さんに言われていたので、しっかり自覚を持ってやっていきたい。個人のプレーだけじゃなく、周りを見る余裕も身に付けていきたい。HFLで2連覇できるのも僕らだけだし。そこはしっかり勝って、全国で勝つ!

石狩レッドフェニックスは 負けず嫌い

藤井 ところで、うちのチームで負けず嫌いと言ったら、やっぱり坪井監督？

兼村 リーグ戦も全部勝つぞ！みたいな勢いでもんね。

藤井 でもあれだけの負けず嫌いだからこそ、NPB(日本野球機構)にも上がっていくんだなあ…って。

蟹澤 自分が出会った監督の中でも一番かな。でも、だからといって理不尽なことは言わないし、言葉に説得力がある。

兼村 監督もコーチも、向こうから選手に話しかけてくれるしね。だから、こっちからも聞きやすい。

蟹澤 あれ？監督、この間出演していたラジオでは「自分からは話しかけない」と言っていたよ。

藤井 確かに。野球のことで監督からは言っていないかも。

兼村 え？マジか…(汗)

中谷内 結構言われるの？

藤井 自分はバッティングフォームのことは言われないけど、メンタル面ではメチャ言われる。「下向くなあ！」って。

全員 (笑)

中谷内 とにかく、*大分の球団から戻ってきた者として言わせてもらえば、うちには監督同様、勝ちに飢えて、熱い気持ちを持つ選手が多いと思うよ。

*2021年は石狩レッドフェニックスに在籍。翌年移籍するも2023年に復帰



捕手 蟹澤智毅 Tomoki Kanisawa

昨年までのチームのキャプテンで、仲間をグイグイと引っ張ることができる選手。バッティングセンスも抜群で、「本当にうらやましい」(兼村選手)。オン・オフの切り替えもうまく、オン時は誰よりも勝負に熱くギラギラする一方、オフ時は一転、「ほわ〜んとしています」(藤井選手)とのこと。

2024プレーテーマは「圧倒」

石狩に暮らすようになって3年目。本当に石狩の皆さんは温かくて優しい！いつも応援していただきありがとうございます



石狩では「あそびーち石狩」がお気に入りスポット。昨年はチーム全員で行って、バーベキューを楽しみました！



内野手 藤井壮太 Sota Fujii

大学時代、大阪で過ごした影響から「誰でも仲良くなるうや」という関西のノリが特徴。そして「意外に部屋はキレイ」(兼村選手)とか。選手としては「パワーがあります」(中谷内選手)と言われ、「バットに当たったときの音が違います」(兼村選手)とも。その快音はぜひ球場で！

2024プレーテーマは「音」

北海道には、石狩レッドフェニックスへの入団が決まって初めて来ました。石狩の第一印象は畑とシカが多いな、ということ。到着早々、車を運転していたら2頭のシカが前を横切って行ったので、「本当にイメージどおりの北海道やなあ…」と驚きました

中谷内 二人が言う通り、HFLのリーグ優勝はもちろん目指さないといけないよね。そしてグラチャンに出て、まず1勝して、理想は優勝。個人としては全てキャリアハイの数字を出す、ということを目指して。あとは石狩レッドフェニックスの勝機にあふれた、気迫あるプレーをいろんな方に見てもらえたらいいね。

藤井 自分もやっぱり全国優勝で！

1勝とは言わずに優勝して、坪井監督と老田代表を胴上げして、しっかり頑張りたと思います！個人としてはNPB入りと、アレっすね、信頼される選手に…全試合出場で！

蟹澤 まだスペース、あるよ。

藤井 はい？…ええと、そうなるのですね、そうなりますね。

全員 そうなるしか言っていない!!

蟹澤 全試合フルイニング出場！

藤井 全試合フルイニング…(もよもよ)。

蟹澤 途中、代えられることがないよーに！

藤井 途中、代えられることがないよーに！そして、坪井さんに「お前、変わったな！」と言われる覚悟はできています！

中谷内 お前、言ったからな！

兼村 今シーズンが楽しみですね。